

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金事業 令和2年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	
						指標	基準値 H28年度	指標値 R2年度	実績値 R2年度	達成状況	事業終了後における事業効果			
											評価			理由
30	五泉ニット製品開発事業(基礎)	商工観光課	基礎	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。試作品の製作、イタリアでの評価、イタリア企業との仮調印を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業」として継続支援。	・低迷が続くアパレル業界の中でコロナ禍が起こるまで生産額が増加していることは、これまでの取組みや方向性は正しいと思われるため、引き続き、ニット組合が行う事業等を支援していくことが重要である。	
	五泉ニット製品開発事業(上乘セタイプⅡ)		上乘セタイプⅡ	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。計画策定のため委員会を開催、視察研修を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。								
31	五泉ニット地域ブランド化事業(加速化)	商工観光課	加速化	平成28年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す取組みに対して支援。品質基準を満たしたニット製品の開発、次世代を担う人材育成のための技術訓練を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。	・生産額が増加している要因として、ニットフェスにおいて、高校生や商店街など地域を巻き込んでいることやSNSで情報発信を行っていることが考えられるため、引き続き、支援していく必要がある。	
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成29年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。								
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成30年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	—	平成30年度事業のため、平成31年度に検証済み。						交付金活用のH30単年度事業。 H31年度以降も継続支援。	・異業種とのコラボ商品等新たな分野の商品開発を若い高校生の斬新な発想を多く取り入れSNS発信を有効に活用することに期待する。	
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	平成31年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	—	平成31年度事業のため、令和2年度に検証済み。								
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	令和2年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。	5,000	1. 産地でのニット生産額	118億円	130億円	113億円	未達成	C 効果が あった	生産額は、達成できなかったが、コロナ禍でも感染症予防対策を行い事業を実施でき、五泉ニットの周知が行えた。またWEB販売サイトを立上げ、新規販路開拓が行えた。雇用数については、達成できなかったが、経営が厳しい環境の中で現状維持ができた。	令和2年度市単独補助事業 令和3年度市単独補助事業 (単年度事業)	・ホームページやSNSで情報発信していくとともに、交流拠点「ラポルテ五泉」を活用した販売戦略を検討したほうがいい。「ラポルテ五泉」完成後の顧客志向の市場調査及び生産・供給の数値と需要の数値の研修を定期的に検証すべきでは。
				2. ニット従業者の雇用数	635人	710人	640人	未達成						

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金事業 令和2年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	
						指標	基準値 H28年度	指標値 R2年度	実績値 R2年度	達成状況	事業終了後における事業効果			
											評価			理由
47	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (基礎)	商工観光課	基礎	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。新商品2点の開発を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降も継続支援。	コロナ禍により工場の来客数は減少したが、大口の原料販売があったため売り上げは増加した。桜うどんが好評であり、売上を伸ばしている。食品分野は売上増の面で期待できるので、引き続き新商品の開発に努める必要がある。 年2回、割引クーポン付きの新聞折込チラシを入れたり、スタンブラリーに参加したりと、情報発信と誘客に努めている。コロナの収束を見据えて更なる情報発信と誘客に努める必要がある。桜だけでなく、低温真空抽出装置のメリットを生かした様々な商品開発に期待したい。	
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (上乘せタイプⅡ)	商工観光課	上乘せタイプⅡ	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。食品・化粧品原料としての品質・規格確立を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。								
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (加速化)	商工観光課	加速化	・五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。機能性原料としての確立、特許取得を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。		
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	・(一社)五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ事業に対する支援を行う。 ・市場調査、PR活動、学会等への出展 ・産し効果の評価、抗腫瘍物質の確認実験、成分分析	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者として運営する「ごせん桜アロマ工房」を活用しながら継続的に事業を推進する。		
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (拠点整備)	商工観光課	拠点整備	H28→H29の繰越事業 ・五泉市ごせん桜アロマ工房を建設。 施設概要:木造平屋建て鋼板葺き 1棟 床面積213.5㎡、低温真空乾燥室、冷菓製造室、売店、事務室等	—	平成29年度事業のため、平成30年度に検証済み。						交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。		
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	交付金対象事業費 3,161千円 ○(一社)五泉市観光協会が実施分 ・桜摘み取り作業費 441千円・市場調査、PR活動、学会等への出展 612千円・成分分析、品質検査費 300千円・ヘルスツーリズムモデル事業 339千円 ○五泉市実施分 桜植栽費 1,469千円	—	平成30年度事業のため、平成31年度に検証済み。						交付金活用事業。 (一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。		
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	交付金対象事業費 4,892千円 ○(一社)五泉市観光協会実施分 ・桜摘み取り作業費 544千円・商品試作品、試供品製造委託 1,500千円・成分分析、品質検査費 440千円・商品普及啓発事業 846千円 ○五泉市実施分 桜植栽費 1,562千円	—	平成31年度事業のため、令和2年度に検証済み。						交付金活用事業。 (一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。		
The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり運営するごせん桜アロマ工房において行った事業 ・桜摘み取り作業 ・ごせん桜商品の原料製造業務 ・ごせん桜商品の製造・販売業務 ・ごせん桜商品の開発業務 ・低温真空抽出装置による抽出試験業務	12,200	1. 桜アロマ機能性原料及び商品の総売上高	300千円	23,300千円	5,367千円	未達成	C 効果が あった。	総売上高は未達成ではあるが、コロナ禍で来所者数が減少したものの大口の原料販売があり、前年度から80万円弱の増加となった。 雇用創出数については、新たな雇用を生み出すまでには至らなかった。 観光入込客数については、最大の集客時期である花シーズの期間に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、その後もイベントがすべて中止となり、例年より大幅に減少した。 アロマ製品については、引き続き情報発信と販路の拡大、商品開発を進めなければならない。	(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。		
2. 桜アロマ事業化による雇用創出数	0人	5人	3人	未達成										
3. 観光客入込数 (基準値H26)	771600	816,000人	316,249人	未達成										